

食の安全「基本のお話」

—第90回—

■パン業界が、「イーストフード、乳化剤不使用」等の強調表示*自粛を発表

全国の製パン会社などが加盟する日本パン公正取引協議会（以下：同協議会）は、2019年7月、「イーストフード、乳化剤不使用等の強調表示（以下、このような強調表示）は、消費者に様々な誤認を与えるおそれがあるため、強調表示を自粛する」と発表しました。

※強調表示…法律で決まっている食品表示項目とは別に商品の特徴をアピールするもの。

経過

このような強調表示が20数年前から一部で見られるようになり、消費者の購買意欲を高める効果があることから急速に広がりました。

2018年、消費者庁より、同協議会に対し、このような強調表示が消費者に誤認を与える疑いがあるため、対処するようにとの情報提供がありました。同協議会で、強調表示の妥当性について科学的に分析するとともに協議を重ね、以下の判断に至りました。

日本パン公正取引協議会の判断

イーストフード、乳化剤を使用することは、量産設備による製造販売をする製パン業界にとって有用有益な技術であり、このような強調表示をすることは、消費者に以下のような誤認を与えるおそれがあると判断しました。

1. 「イーストフードや乳化剤が、安全面・健康面で問題がある」と誤解する。

イーストフードや乳化剤は、国際的に安全性が公認され、国が科学的根拠をもってその安全性、有用性を評価している食品添加物です。

2. 「このような強調表示をしている商品の方が他の商品よりも優位性がある」と誤認する。

3. 「このような強調表示をしている商品に、イーストフード*1または乳化剤*2がその代替物を含めて一切使用されていない」と誤認する。

同協議会の科学的な分析で、このような強調表示がされているパンには、イーストフードや乳化剤と同質、あるいは同一の機能を有する代替物質が使われていることがわかりました。

※1 イーストフード…イースト菌の醗酵を促します。 ※2 乳化剤…混じりにくい水と油を均一に混合する働きがあります。



強調表示を行ってきた会員企業は、現在使用している包装がなくなり次第、順次「不使用」「無添加」表示を自粛する見通しです。



●日本パン公正取引協議会

<https://www.pan-koutorikyo.jp/>



●一般社団法人日本パン工業会

<https://www.pankouguyokai.or.jp/>

